

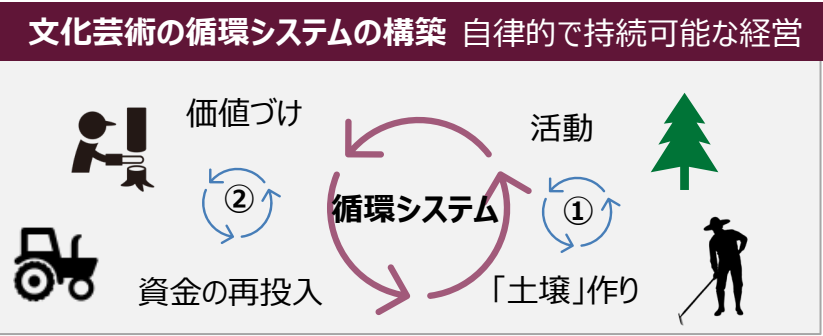


文化経済部会報告書を受けた取組の 進捗状況について

令和5年3月22日
文化庁文化経済・国際課

文化と経済の好循環を実現する文化芸術の「創造的循環」概要（第1期文化経済部会報告書、令和4年3月）

文化と経済の好循環 二つの「創造的循環」によって、資金が確保されるとともに文化芸術活動を促進し、さらに再投入の資金を生み出す「文化と経済の好循環」を実現する。



- 第1の「創造的循環」** 文化芸術活動（「樹木」）を生み出す「土壌」を豊かにする循環
- (1) 創造的人材の持続的な育成
 - (2) 「土壌」としての地域、場所
 - (4) ファンドレイジングと税制措置
 - (5) 文化芸術DXの推進
 - (6) 文化芸術活動と担い手に関する公的統計・データ整備とアーカイブ

- 第2の「創造的循環」** 文化芸術活動（「樹木」）を「保育」し、価値を高めて行く循環
- (3) マーケティング、ブランディング、プロモーション
 - (7) グローバル市場への積極的な関与

創造的循環達成のための「7つの渦」

- 具体的なアクションプラン案（報告書p.18～）
- 【文化芸術循環システムの構築】（基盤的施策）
- ① 文化芸術全般を振興する**カウシル機能**（伴走型支援機能）の確立・強化の検討
 - ② 文化芸術/ソフトパワー・プロモーション強化に向けた**関係機関の連携強化**
- (1) ① ワザの学修プログラム、②アーティスト等の就労環境の改善
③プロデュース人材の育成
- (2) ①地域芸術祭等のエコシステムの検証、②歴史的建造物等を地域で持続的に産業として育成する仕組みづくり ③中間支援組織等の形成支援、④海外富裕層の誘致
- (3) ①発信強化、②グローバル（デジタル）マーケティング、③民間活動支援、④海外富裕層の誘致、⑤世界誘客の場づくり、⑥鑑賞者教育
- (4) ①文化芸術への寄附促進、②寄附マッチング、③コレクターと美術館の関係強化、④動画制作のインセンティブ
- (5) ①文化ビジネスのグローバル化推進、②新たなテクノロジーへの対応
③ブロックチェーン等を活用した美術品の来歴管理
- (6) ①文化芸術関係統計データの整備、②国内アーカイブの連携
③ナショナルコレクションの形成、④公的鑑定評価制度の創設
- (7) ①トップアーティストの育成、②文化ビジネスのグローバル展開
③国立館のパートナーシップ強化、④東アジアワイドでのプロモーション強化

文化経済部会報告書報告書（令和4年3月）を受けた主な取組

●令和4年度の取組

- ・文化芸術カウンスル機能検討WGにおける議論
- ・基盤・制度WG公的鑑定評価に係る作業部会における議論
- ・その他伴走型支援の実証等

●令和5年度予算への反映

- ・文化経済・国際課予算を「文化芸術の創造的循環の創出」として再構築

●文化芸術推進基本計画（第2期）への反映

重点取組1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進

我が国の文化芸術活動の活性化を図るとともに、文化芸術水準の一層の向上が図られるよう、文化芸術団体の創造的な活動や文化芸術の担い手の確保・養成等を支援する。また、文化芸術団体等が抱える課題に対処し充実した活動を推進することにより、更なる本質的及び社会的・経済的価値の創出を促進するため、文化芸術分野における活動基盤の強化等に資する施策や、文化芸術団体等に対する自律的・持続的な発展に資する施策を重点的に実施する。

重点取組5 文化芸術のグローバル展開の加速

昨今のグローバル化及びデジタル化の進展という社会・経済情勢を踏まえれば、我が国の文化芸術の発信の在り方を今一度見直し、文化芸術のグローバル展開を効果的・戦略的に進めることは喫緊の政策課題となっている。あわせて、日本の文化芸術の特徴や良さを世界に認めてほしいというメンタリティーから脱却し、我が国が世界中の才能を呼び寄せ繋ぐ磁場になるという発想の転換が必要である。

施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展

文化芸術関係者が持続可能な形で活動を継続できるよう、団体・芸術家等の活動基盤を強化することにより、芸術家等が創造性を豊かに発揮し、安心・安全に活動を継続できる環境の実現を目指す。また、文化芸術団体の自律的な運営や資金調達方法の多様化を可能にすることにより、我が国の文化芸術の持続可能な発展を図る。

施策群⑨ 世界を視座とした戦略的な文化芸術の展開

文化芸術を通じて我が国に対する世界からの国際的理解を深め、同時に地球規模の課題の解決にも貢献していくことは、文化芸術領域における我が国の国際的な存在感向上につながるだけでなく、我が国経済の活性化にもつながるものである。そのため、世界の目線や潮流を踏まえた文化芸術のグローバル展開や海外での発信を戦略的に推進するとともに、これまでに実施した海外での文化事業や「日本博」等で培われた知見・ネットワークを活かし、世界の多様な文化の理解・受容にも留意しつつ文化面での国際交流の充実を図る。

施策群⑩ 海外との連携による文化芸術の好循環の創出

我が国が国際的に文化芸術面で影響力・訴求力のある、世界に開かれた文化芸術の拠点となることを目指すとともに、我が国の有する文化芸術の国際発信の強化、インバウンド誘致に向けた取組を促進することにより、文化芸術の好循環を創出する。

文化芸術の創造的循環の創出

令和5年度予算額(案)

1,425百万円

(前年度予算額)

1,277百万円)



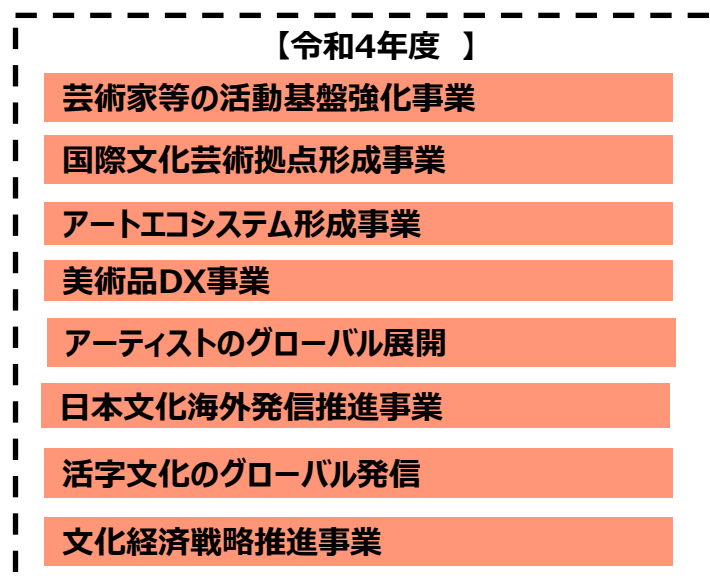
背景・課題

文化芸術の自律的・持続的な発展に向けては、文化芸術活動そのものあるいは各領域において、リソースの確保から実際の活動やプロモーションを通じた事業収益化・それに裨益する効果を得ることによって、更なる再投資が行われ継続的な資源投入と文化芸術活動の促進がなされる「文化と経済の好循環の実現」（いわゆるエコシステムの構築）が必要である。そこで、①文化芸術領域における**エコシステム確立のための推進枠組みを形成**するとともに、②具体的な事例（≒突破事例）作りと横展開のために、**実証的・実践的な取組**を形成・実行する。

事業内容

事業実施期間：令和5～9年度（予定）

令和4年度に実施していた複数の事業を「エコシステム形成」という新たな観点でまとめ、国全体の文化芸術の自律性向上に資することを目指す。



価値づけ

【令和5年度 文化芸術の創造的循環の創出（1,425百万円）】

- 1. 芸術家等の活動基盤強化 81百万円**
 - フリーランスの芸術家を含む文化芸術関係者の事業環境の改善に向けた取組の実施
- 2. 文化芸術エコシステムの形成促進 212百万円**
 - ① 文化芸術の自律的運営促進事業 166百万円（新規）**
 - 文化芸術の自律性を高めるための持続的な運営実現に向けたコンサルティング及びその実証
 - ② アートエコシステム基盤形成促進事業 46百万円（新規）**
 - 公的鑑定評価制度の創設に係る実証事業、美術品管理適正化事業等
- 3. 文化芸術のグローバル展開の推進 1,132百万円**
 - ① トップアーティスト人材発掘・国際的活動支援事業 201百万円（201百万円）**
 - トップ人材発掘支援等
 - ② 新進芸術家海外研修制度 187百万円（173百万円）**
 - 若手芸術家の海外研修への支援
 - ③ 活字文化のグローバル発信・普及事業 65百万円（新規）**
 - 海外展開のための外国語の企画書・サンプル訳の作成支援、翻訳家の発掘・育成等
 - ④ 我が国アートのグローバル展開推進事業 152百万円（新規）**
 - 国際的なアートフェアへの出展等支援、拠点化支援等
 - ⑤ 世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進 527百万円（新規）**
 - 国際的なアートフェアの誘致、音楽イベント等への伴走型支援等

文化芸術循環システムの構築（基盤的施策）

- ① 我が国の文化全般を振興するカウンスル機能（伴走型支援機能）の確立・強化（望ましい機能の在り方、振興の最適な方法論の検討等）
- ② 我が国政府における文化芸術/ソフトパワー・プロモーター機能の強化（関係機関の連携強化）

報告書

- 文化芸術領域の課題を把握・解決し、文化芸術活動が自律的・持続的に発展していく環境作りを、より強力・効率的に行う余地
- 司令塔機能のもとでビジョンを共有し、All-Japanで連携した取り組みを行う必要性

R4実施事項

- 文化芸術カウンスル機能検討WGにおける議論
- 伴走型支援の実証（文化経済戦略推進事業）
- （アート分野）国際アートフェア誘致等関係省庁連絡会議の開催（R4.6, 10）

第2期計画

重点取組 1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進

施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展

- 文化芸術団体等が抱える課題に対処し充実した活動を推進できるよう、**国のアーツカウンスル機能を強化して伴走型支援を実施するとともに、**多様な資金調達を促進するため、寄附をはじめとする資金調達モデルの形成支援及び周知・普及を行う。
- 独立行政法人日本芸術文化振興会において実施されている**文化芸術活動への助成制度について、人材の適切な配置や効果的な成果指標の設定等を含む機能強化、実効化施策**を実施する。

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速

施策群⑨ 世界を視座とした戦略的な文化芸術の展開

- 在外公館、国際交流基金や観光庁、日本政府観光局をはじめとする**関係省庁や関係機関**、インバウンドへの取組を加速する地方公共団体、経済団体や観光事業者**等が連携**し、オールジャパン体制で実施する海外プロモーション事業や日本紹介事業においてこれまでに構築した現地ネットワークを活用する。
- バイ・マルチを問わず各種国際フォーラムや、関係省庁・機関の有するネットワークを相互に活用することにより、様々な階層で我が国の文化芸術を積極的に発信する。

R5予算案

文化芸術の自律的運営促進事業 166百万円（新規）

文化芸術の自律性を高めるための持続的な運営実現に向けたコンサルテーション及びその実証

(1) 創造的人材の持続的な育成

- ① 文化芸術関係のワザを学修する仕組みの検討
- ② アーティスト等の就労環境の向上、活躍の場作り
- ③ プロデュース人材の育成

報告書

- フリーランス等、就労立場の弱い環境で活動するアーティスト等の適正な契約関係や安定的なキャリアパスの構築が必要
- プロデュース人材の海外派遣や育成等の必要性

R4実施事項

- 文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン（検討のまとめ）（R4.7公表）
- 芸術家等実務研修会の実施（R5.1～3 計35回）
- 文化芸術分野の契約等に関する相談窓口の開設（R5.1～3）
- 新進芸術家海外研修制度の実施（R4：30人）

第2期計画

重点取組1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進（再掲）

施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展

- 文化芸術の担い手は個人や小規模な団体で活動する者も多く、支援施策の対象となる個人事業主・小規模事業者・中小企業者としての知識が必要となることから、積極的に情報提供を行う。
- 芸術家等については、立場の弱さや不安定さに起因して不利益が生じたり、活動継続が困難になったりなどの状況が生じていることから、業務特性を踏まえた働き方改革等の推進の他、個人で活動する芸術家等が置かれている環境を考慮した上で、諸外国の取組状況も把握・分析し、課題を洗い出しながら、**芸術家等が個人事業主等として事業を継続し、専念して活動ができる仕組みの検討等、芸術家等の活動基盤強化のために必要な取組**を、民間企業と連携しつつ、関係省庁間で推進する。
- 文化芸術分野における**適正な契約関係構築**のため、個人で活動する芸術家等を含む文化芸術関係者に対する**研修会の実施、相談窓口の設置**といった継続的な取組を推進する。また、当事者となる**事業者等及び業界団体によるルール作りや環境整備**、芸術家等が知識を深め、事業者等と協議等を行うことを促す。

重点取組5 文化芸術のグローバル展開の加速

施策群⑩ 海外との連携による文化芸術の好循環の創出

- 質の高い文化芸術活動を展開している、又は、**将来的な成長が見込まれる新進気鋭のアーティストや文化芸術の専門家等に対し、実践的な海外研修の機会を提供し、将来的な国内外での活動展開のための人材育成を実施する。**

R5予算案

- | | | |
|--------------------|--------|---------------------------------------|
| 芸術家等の活動基盤強化 | 81百万円 | フリーランスの芸術家を含む文化芸術関係者の事業環境の改善に向けた取組の実施 |
| 新進芸術家海外研修制度 | 187百万円 | 若手芸術家の海外研修への支援 |

(2) 「土壌」としての地域、場所

- ① 地域芸術祭等の取り組みについてエコシステムを検証し、形成・活性化に有効な要素を補う方策の検討
- ② 歴史的建造物等を芸術文化のために面的に活用し、地域に持続的に産業を育成する仕組みの整備
- ③ (文化芸術カウンスル機能強化の一環として) 歴史的建造物・文化的中間支援組織等を活用して活性化のエコシステムを創る中間支援組織形成支援の検討
- ④ 海外富裕層の誘致・滞在・体験の促進の取組

報告書

- 地域の芸術祭等開催費支援だけではなくエコシステムという観点から運営に係る地域の人材雇用等様々に検証・改善が可能ではないか

R4実施事項

- 建築文化に関する検討会議の立ち上げ、開催
- 文化芸術カウンスル機能検討WGにおける議論
- JAXUARY (世界からみた日本の「上質」を選出) の英訳、海外発信の実施

第2期計画

重点取組 1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進 (再掲)

施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展 (再掲)

- 文化芸術団体等が抱える課題に対処し充実した活動を推進できるよう、国のアーツカウンスル機能を強化して伴走型支援を実施するとともに、多様な資金調達を促進するため、寄附をはじめとする資金調達モデルの形成支援及び周知・普及を行う。
- 独立行政法人日本芸術文化振興会において実施されている文化芸術活動への助成制度について、人材の適切な配置や効果的な成果指標の設定等を含む機能強化、実効化施策を実施する。

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速 (再掲)

施策群⑨ 世界を視座とした戦略的な文化芸術の展開 (再掲)

- 在外公館、国際交流基金や観光庁、日本政府観光局をはじめとする関係省庁や関係機関、インバウンドへの取組を加速する地方公共団体、経済団体や観光事業者等が連携し、オールジャパン体制で実施する海外プロモーション事業や日本紹介事業においてこれまでに構築した現地ネットワークを活用する。

R5 予算案

文化芸術の自律的運営促進事業 166百万円 (新規)

文化芸術の自律性を高めるための持続的な運営実現に向けたコンサルテーション及びその実証

(3) マーケティング、ブランディング、プロモーション

- ① 発信強化の観点からの取組
- ② 文化芸術カウンスル機能の強化によるグローバルなマーケティングの仕組みへの適応
- ③ 民間ベースの有力なブランディング活動の促進
- ④ 海外富裕層の誘致・滞在・体験の促進の取組【再掲】
- ⑤ 世界を惹きつける場作り・機会作り
- ⑥ 鑑賞者教育の強化の検討

報告書

- 世界中から人々が集まるような国際的なフェアの誘致が必要ではないか。

R4実施事項

- アートバーゼルと連携してアートウィーク東京を開催
- JAXUARY（世界からみた日本の「上質」を選出）の英訳、海外発信の実施

第2期計画

重点取組 1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進（再掲）

施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展（再掲）

- 文化芸術団体等が抱える課題に対処し充実した活動を推進できるよう、**国のアーツカウンスル機能を強化して伴走型支援を実施**するとともに、多様な資金調達を促進するため、寄附をはじめとする資金調達モデルの形成支援及び周知・普及を行う。
- 独立行政法人日本芸術文化振興会において実施されている**文化芸術活動への助成制度について、人材の適切な配置や効果的な成果指標の設定等を含む機能強化、実効化施策**を実施する。

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速（再掲）

施策群⑩ 海外との連携による文化芸術の好循環の創出

- 我が国がアートの国際的な拠点として成長し、国際的なアート・エコシステムの一大拠点となることを目指し、国際的なアートフェアやオークションの誘致に向けた我が国のアートシーンの発信、アートの取引を活発化させることにつながる取組を推進する。

R5 予算案

我が国アートのグローバル展開推進事業 152百万円（新規）

国際的なアートフェアへの出展等支援、拠点化支援等

世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進 527百万円（新規）

国際的なアートフェアの誘致、音楽イベント等への伴走型支援等

(4) ファンドレイジングと税制措置

- ①文化芸術への寄附促進パッケージ
- ②寄附ファンドレイジングの観点から文化芸術施設と企業のマッチングを推進する実証的取組の推進
- ③美術館等とコレクターの関係強化の検討
- ④動画分野における制作拠点としての競争力向上のためのインセンティブの検討

報告書

- 寄附のインセンティブが小さく、受け手である文化芸術組織も寄附の活用に向けた取り組みが充分でないのではないか。
- 民間コレクターが収集したコレクションを美術館が継承する仕組みが必要ではないか。

R4実施事項

- 文化芸術寄附の促進に向けた勉強会の実施
- 文化関係の税制ポータルサイトの開設

第2期計画

重点取組 1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進（再掲） 施策群② 基盤強化、自律的運営による文化芸術の持続可能な発展

- 文化芸術団体等が抱える課題に対処し充実した活動を推進できるよう、国のアーツカウンシル機能を強化して伴走型支援を実施するとともに、多様な資金調達を促進するため、**寄附をはじめとする資金調達モデルの形成支援及び周知・普及**を行う。

R5予算案

文化芸術の自律的運営促進事業 166百万円（新規）
文化芸術の自律性を高めるための持続的な運営実現に向けたコンサルテーション及びその実証

(5) 文化芸術DXの推進

- ① デジタル化に伴う世界のコンテンツ消費構造の変化に対応した文化ビジネスのグローバル展開推進
- ② 新たなテクノロジーの潮流（NFT、メタバースを含む仮想空間等）を捉えた、文化芸術振興に資する具体事例の創出や活用策の検討
- ③ ブロックチェーン技術を活用した美術品の来歴情報等の蓄積に向けた取組

報告書

- デジタル技術は新たな表現空間の開拓等、文化芸術コンテンツの付加価値創出のあり方を大きく変えており、デジタルとリアルの関係性構築等に関して実効性を持った形で実現する仕組みづくりが求められる。
- 美術品の取引の透明性が相対的に低く、流通が活性化していないのではないかな。

R4実施事項

- バーチャル日本博（R4本格開始）
- 美術品DX事業において、美術館・博物館業務標準化に向けた検討、館横断的な情報の取り扱いについて実証

第2期計画

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速（再掲） 施策群⑩ 海外との連携による文化芸術の好循環の創出

- 魅力ある日本文化を海外に幅広く紹介するため、インターネット等を活用した日本文化の総合的な情報発信を図る。

R5 予算案

日本博を契機とした観光コンテンツの拡充 2,456百万円（継続）

- ・ 「日本博2.0」の取組の中で、デジタル技術（VR、AR、メタバース、NFT、MaaS等）を活用して、文化資源へのボーダレスなアクセスや新しい文化鑑賞体験を実現することにより、リアルに開催される事業への誘客を目指す。
- ・ 「日本博2.0」プロモーションの一環として「バーチャル日本博」を活用した観光コンテンツの発信を行う。

アートエコシステム基盤形成促進事業 46百万円（新規）

公的鑑定評価制度の創設に係る実証事業、美術品管理適正化事業等

(6)文化芸術活動と担い手に関する公的統計・データ整備とアーカイブ

- ① 文化芸術関係の統計・データを政策目的に応じて段階的に充実・整備
- ② 国内アーカイブの連携及び「国立映画アーカイブ」の強化
- ③ ナショナルコレクションの形成推進
- ④ (アート市場の活性化を図るため) 美術品価格の信頼性を高める市場インフラとして公的な鑑定評価制度の創設ナショナルコレクションの形成推進

報告書

- 従事者、文化資源の規模、社会的インパクト等基礎データの充実
- アートの構造や環境、範囲が広がる中で、それに対応した支援やアーカイブ等を検討する必要があるのではないか。
- アート市場の活性化を進めていくうえで、アートの価格が客観的に分かりにくく、市場参加者が増えにくい。また、信頼性の高い時価評価の仕組みを通じた「ナショナルアセット」の把握が必要。

R4実施事項

- 文化芸術カウンスル検討WGにおいて、文化芸術団体の基礎情報の収集・分析について報告書に明記
- 独立行政法人国立美術館の対象範囲の拡大
- 国立アトリサーチセンターの設立
- 基盤・制度WG公的な鑑定評価に関する作業部会における「中間とりまとめ」、「美術品（近現代分野）の鑑定評価における価格評価の手法、手順等についてのガイドライン試行版」の公表

第2期計画

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速（再掲） 施策群⑩ 海外との連携による文化芸術の好循環の創出

- 魅力ある日本文化を海外に幅広く紹介するため、インターネット等を活用した日本文化の総合的な情報発信を図る。

R5予算案

アートエコシステム基盤形成促進事業 46百万円（新規）
公的鑑定評価制度の創設に係る実証事業、美術品管理適正化事業等

(7)グローバル市場への積極的な関与

- ①グローバルな「トップレベルのアーティスト等育成プラットフォーム」事業の確立・実施
- ②文化関連ビジネスのグローバル展開推進事業（CBXプロジェクトの推進）
- ③国立文化施設における国外文化施設とのパートナーシップ強化と国際的な認知度の向上（海外の国立劇場、博物館等との連携推進、国際的な情報発信の強化、外国人材の幹部登用等）
- ④世界展開を見据えた東アジアワイドでの芸術発信・売込み強化方策の検討

報告書

- 分野ごとのトップアーティストのキャリアパスの「見える化」を行い、それを踏まえた上で在外公館や海外の日本政府機関と連携してアーティストの育成・グローバルな活躍の支援に取り組む。
- J-POP等の音楽・ライブ分野や、活字分野（翻訳）など産業界の関係者と共に文化関連ビジネスのグローバル展開を推進する。

R4実施事項

- トップアーティストの発掘・国際的活動支援事業を開始し、分野ごとのトップアーティストのキャリアパスの「見える化」と、アーティストのグローバルな活躍を支援するための仕組みづくりを実施。
- CBX（Cultural Business Transformation）に係る取組として、音楽産業界及び出版業界と連携したグローバル展開事業を開始。

第2期計画

重点取組 5 文化芸術のグローバル展開の加速（再掲）

施策群⑨ 世界を視座とした戦略的な文化芸術の展開

- 美術、ポップ・ミュージックを含む音楽をはじめとする舞台芸術等の各分野において、世界的に訴求力があり将来的に国際舞台での活躍が期待される傑出した才能を有した**トップアーティスト等を発掘**し、グローバルレベルでのキャリアを積むことができる場への参加支援・マッチング、海外におけるネットワーク構築やプロモーション活動に関する**サポート等の総合的な支援**を官民共同で実施する。
- 我が国の多様で豊かな活字文化を海外へ発信・普及させるため、**出版社等による文化芸術作品の海外展開を促進**するとともに、翻訳家の発掘・育成を推進する。

R5 予算案

トップアーティスト人材発掘・国際的活動支援事業 201百万円

トップアーティストのキャリアパス調査、グローバルレベルでの評価形成、海外におけるネットワーク構築の支援

活字文化のグローバル発信・普及事業 65百万円（新規）

海外展開のための外国語の企画書・サンプル訳の作成支援、翻訳家の発掘・育成等